

2015年12月25日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)※1」

米国ハイ・イールド債の最近の投資環境と今後の見通しについて

※1「マネープールファンド」を除く

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」(以下、ファンド)の実質的な主要投資対象である米国ハイ・イールド債について、最近の投資環境と今後の見通しについてご説明致します。

1. ファンドのパフォーマンス

ファンドが投資対象とする外国投資信託(以下、外国投資信託)のパフォーマンスは設定来、概ね堅調に推移してきましたが、2015年6月以降は下落基調となりました。主な要因としては、FRB(米連邦準備制度理事会)が年内に政策金利を引き上げるとの懸念が高まったことや足元で原油価格が下落していることなどを背景に市場環境がリスク回避的となり、米国ハイ・イールド債市場が軟調に推移していることが挙げられます。

次の項目以降で、米国の利上げや原油価格等から見た投資環境についてご説明いたします。

※2ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド(ケイマン諸島籍円建外国投資信託)のうち、組入資産を原則として対円で為替ヘッジを行なう「JPY Class(クラス)」の1口当たりの純資産価格を使用しています。純資産価格(分配金込み)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したのとして計算した価額です。また、換金時の費用、税金等は考慮していません。

※3当該外国投資信託の設定日

次項目～3ページは、ファンドが投資対象とする外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」を運用するノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク(NCRAM社)の情報に基づき野村アセットマネジメント作成。

外国投資信託のパフォーマンスの推移

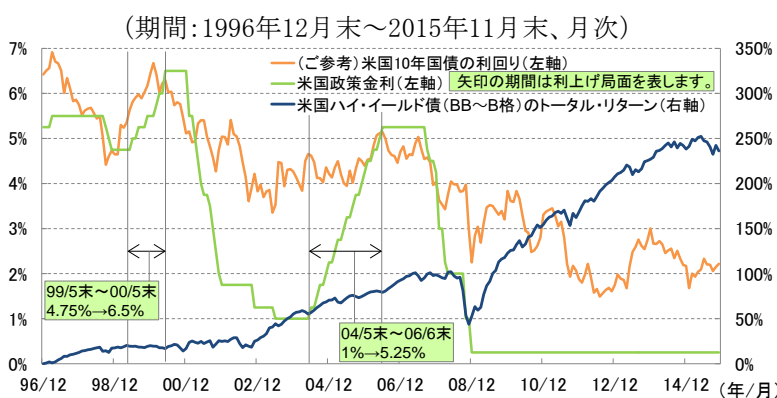


2. 米国の利上げについて

12月16日のFOMC(米連邦公開市場委員会)で、0.25%の米国政策金利の引き上げが発表されました。FRBは、中長期的に3%台まで金利の引き上げを予定しているものの、引き上げのペースについては、外部環境次第としています。NCRAM社は、金利が緩やかに引き上げられるのであれば、米国ハイ・イールド債にとって、それほど大きな影響は出ないと考えています。

また、過去の金利上昇局面でも、米国ハイ・イールド債市場は、比較的堅調に推移しました。

金利上昇局面における米国ハイ・イールド債(BB～B格、米ドル建て)



上記トータル・リターンは1996年12月末を起点として算出。米国ハイ・イールド債(BB～B格): BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテイド・コンストレインド・インデックス、米国10年国債の利回り(課税前): BofA・メルリンチ米国10年国債インデックス、米国政策金利: フェデラルファンドレート(FF金利)の誘導目標値。2008年12月16日以降の米国政策金利は0～0.25%ですが、グラフ上(2008年12月末以降)では0.25%としています。

(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

— 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —
 — また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

3. 原油価格について

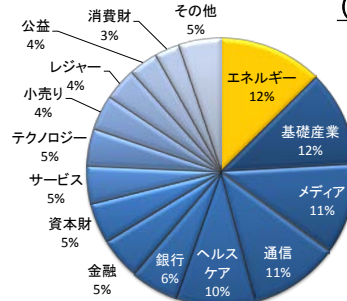
米国ハイ・イールド債(BB～B格)の発行企業の約12%は、エネルギーセクターが占めており(2015年11月末現在)、原油価格の下落は米国ハイ・イールド債市場に大きな影響を与えています。足元の原油価格の下落を受け、一部のエネルギー企業の収益は圧迫されています。

NCRAM社では、今が最も厳しい局面であると見ており、問題はどのくらいの期間、現在の原油価格の水準で推移するかにある、と考えています。仮に、現在の40米ドル/バレル(WTI原油先物価格)を下回るような原油価格の水準が、半年から1年にわたって続いた場合、エネルギーセクターのデフォルト率が更に上昇すると見られています。

しかし、足元の原油市場では、徐々に生産調整が行なわれています。米国エネルギー情報局によると、8月末には250万バレル/日まで開いたグローバルでの需給ギャップが、11月末時点で134万バレル/日まで縮小しています。また、石油・天然ガスのリグ(掘削装置)の稼働数は、約5年半ぶりの水準にまで低下しており、供給サイドでの調整も進んでいます。こうした需給動向を背景に、中長期的には原油価格も緩やかに戻っていくものと考えられます。

また、米国では、原油安や良好な雇用環境を背景に、個人の所得環境の改善が見込まれており、2016年も緩やかな景気回復が期待されています。米国ハイ・イールド債の発行企業の約3分の2は、米国の景気回復の恩恵を受けやすい内需企業です。小売り(食品・医薬)セクターは米国経済の堅調な推移を受け、米国ハイ・イールド債市場をけん引しています。

米国ハイ・イールド債(BB～B格)のセクター構成比 (時価総額ベース)



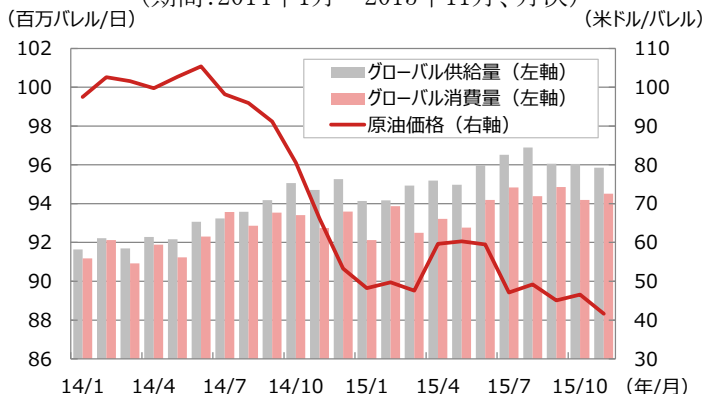
(2015年11月末現在)

米国ハイ・イールド債(BB～B格) : BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス

(出所) BofAメルリンチデータよりNAM USA作成

原油*供給量・消費量と原油価格の推移

(期間: 2014年1月～2015年11月、月次)



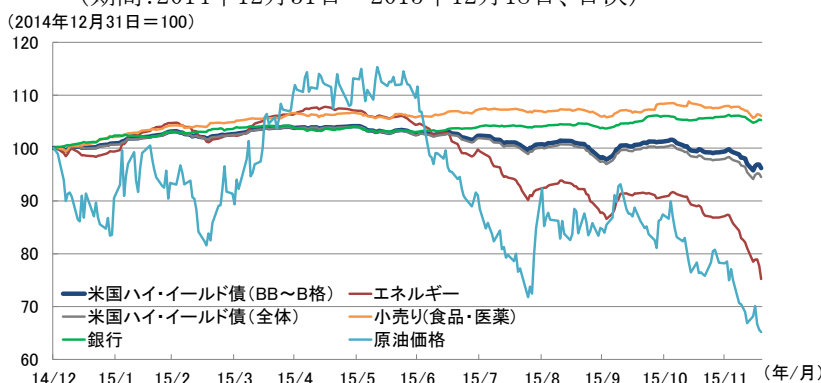
※その他液体燃料を含む

原油価格: WTI(West Texas Intermediate)原油先物価格(米ドルベース)

(出所) EIA(米国エネルギー情報局)データより野村アセットマネジメント作成

米国ハイ・イールド債、各セクターのパフォーマンスと原油価格の推移

(期間: 2014年12月31日～2015年12月18日、日次)



*各セクターのパフォーマンスは、米国ハイ・イールド債(全体)に基づきます。米国ハイ・イールド債(BB～B格) : BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス、米国ハイ・イールド債(全体) : BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・コンストレインド・インデックス、原油価格: WTI(West Texas Intermediate)原油先物価格(米ドルベース)

(出所) BofAメルリンチデータ、ブルームバーグデータよりNAM USA、野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

4. 米国ハイ・イールド債のデフォルト率について

NCRAM社は、今後2年で3.5%程度の米国ハイ・イールド債のデフォルト率を想定しています。JPモルガン社の調査では、2015年11月末現在の米国ハイ・イールド債のデフォルト率は約2.4%となっており、1%程度の上昇を見込んでいます。上昇の主な原因は、原油価格の下落に伴うエネルギー関連企業のデフォルトの増加です。

NCRAM社としては、保有資産やキャッシュフローを慎重に分析し、エネルギー関連企業の中でもファンダメンタルズと比べて、売られすぎていると判断される銘柄を保有し、外国投資信託の良好なパフォーマンスを目指します。

米国ハイ・イールド債(BB～B格)のトータル・リターンは、2008年後半より米国サブプライムローン問題を発端とした世界的な金融不安を背景にデフォルト率が急上昇する局面では低下しましたが、概ね堅調なパフォーマンスとなりました。

デフォルト率は、2009年11月末に約11%とピークをつけましたが、その後、低下しました。足元では、1996年12月末以降の平均デフォルト率を下回る水準にあります。

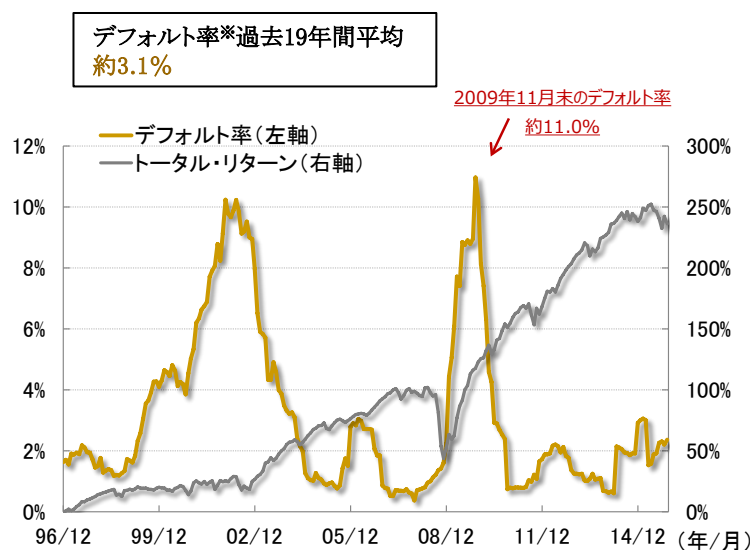
上記トータル・リターンは1996年12月末を起点として算出。

米国ハイ・イールド債(BB～B格) : BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトド・コンストレインド・インデックス
デフォルト率: JPモルガン(過去12か月間のデフォルト銘柄の発行残高を基に算出されたもの)

(出所) BofAメルリンチ、JPモルガンデータよりNAM USA作成

デフォルト率*と米国ハイ・イールド債(BB～B格)トータル・リターンの推移

(期間: 1996年12月末～2015年11月末、月次)



※デフォルト率は米国ハイ・イールド債市場全体の数値です。過去19年間平均は、1996年12月末から2015年11月末までの期間の平均値です。

5. 今後の見通し

FRBは、今後の利上げのペースは外部環境次第としていることから、急激な政策金利の引き上げは難しいのではないかと考えられます。物価上昇率が、FRBの目標水準を大きく下回っていることに加えて、金利の引き上げを先取りする形で、為替市場ではドル高が進んでおり、さらにドル高が進めば、一部の米国の輸出関連企業にも影響が出ることが予想されます。したがって、NCRAM社としても、緩やかな金利上昇を見込んでいます。

また、NCRAM社では、2016年の米国ハイ・イールド債市場の反発を予想しています。原油価格の下落に伴うエネルギーや金属・鉱業などのセクターでのデフォルト率の上昇が見込まれるものの、堅調な消費に支えられ、内需関連企業にとっては良好な事業環境になると見えています。具体的には、通信、住宅関連、銀行などのセクターに注目しています。

なお、2016年の米国の経済成長率は、2.0～2.5%になると予想しています。足元の12月中旬には、米国ハイ・イールド債市場のスプレッドは拡大しており(BB～B格*は5%台前半)、これは過去の水準と比べても高い水準にあります。米国をはじめとするグローバル経済の緩やかな成長が確認されれば、徐々にスプレッドは縮小していき、米国ハイ・イールド債市場も反発するものと考えています。

※ BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトド・コンストレインド・インデックス

スプレッド = [米国ハイ・イールド債(BB～B格)の利回り] - [米国10年国債(BofA・メルリンチ米国10年国債インデックス)の利回り] (課税前)

— 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

6. 米国ハイ・イールド債の長期保有効果

米国ハイ・イールド債(BB～B格)は、リーマンショック時に約26.6%下落(2008年9月～11月)するなど、数々の下落局面を経験してきましたが、1996年12月末～2015年11月末の長期間で見ると、年率約6.6%のプラスリターンとなりました。

また、1996年12月末～2015年11月末の期間において、米国ハイ・イールド債(BB～B格)を5年間保有した場合、リターン月数168回のうち、166回がプラスリターンとなり、長期保有の効果があったといえます。

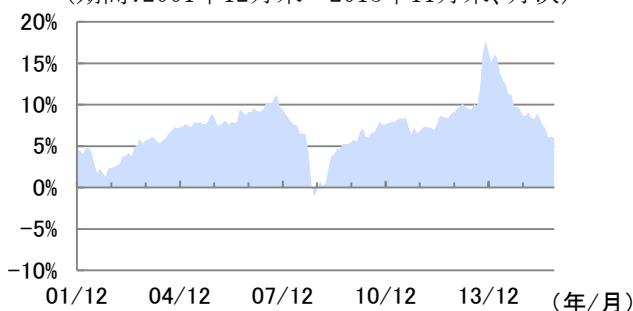
米国ハイ・イールド債(BB～B格)のパフォーマンス(米ドル建て)

(期間:1996年12月末～2015年11月末、月次)



保有期間5年間のリターン(年率)

(期間:2001年12月末～2015年11月末、月次)



平均値(年率)		7.3%
最高値(年率)		17.7%
最低値(年率)		-1.1%
リターンの分布	プラス	166回
	マイナス	2回

5年間保有した場合のプラスリターンの内訳

0%以上5%未満	31回
5%以上	135回
プラスリターン回数の合計	166回

1996年12月末から2015年11月末の月次データを基に基準月まで一定期間保有した場合の年率リターンです。5年間にわたり資産を保有したと仮定し、各基準月時点でのどの程度のリターンが得られたかをシミュレーションしています。例えば、2015年11月末の年率リターンは、2015年11月末までに、5年間保有した場合の年率換算したリターンを表示しています。

米国ハイ・イールド債(BB～B格): BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス

(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

今後とも、「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【使用した市場指数について】

● BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield, Cash Pay, BB-B Rated, Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メルリンチが算出する、米国のハイ・イールド債市場におけるBB～B格のパフォーマンスを表す代表的な指数です。BofA・メルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield, Cash Pay, Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メルリンチが算出する、米国のハイ・イールド債市場のパフォーマンスを表す代表的な指数です。BofA・メルリンチ米国10年国債インデックス(BofA Merrill Lynch US Treasury, Current 10 year Index)は、バンクオブアメリカ・メルリンチが算出する、米国10年国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メルリンチに帰属しております。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、19本のファンド(「毎月分配型」と「年2回決算型」を有する、為替取引手法の異なる9つのコース(円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、通貨セレクトコース、メキシコペソコース)およびマネープールファンド(年2回決算型))から構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く9つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
ユーロコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ユーロを買う為替取引を行いません。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。
トルコリラコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。
通貨セレクトコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行いません。
メキシコペソコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の副投資顧問会社が選定した通貨を指します。
詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の場合においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
 - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマースナル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
 - ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合がありますことにご留意下さい。

◆年2回決算型

・各コース

原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド

原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成31年1月27日まで
円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、マネープールファンド 平成21年1月28日設定
通貨セレクトコース 平成23年10月27日設定
メキシコペソコース 平成26年4月22日設定
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
- ご購入価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、マネープールファンドは、年2回決算型の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
【マネープールファンド】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額
- スwitching 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合はまたは12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年12月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ・各コース(通貨セレクトコースを除く)：年1.6504%程度(税込) ・「通貨セレクトコース」：年1.8004%程度(注)(税込) (注) 純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成27年10月16日現在年0.0216%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様が発金される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。